

アンケート結果（報告）

令和4年度 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座

在宅での看取りについて ～あなたの身近な相談者～

日 時：令和5年1月28日（土）

場 所：アイム・ユニバース てだこホール 市民交流室

主 催：浦添市

実施運営主体：一般社団法人 浦添市医師会

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー

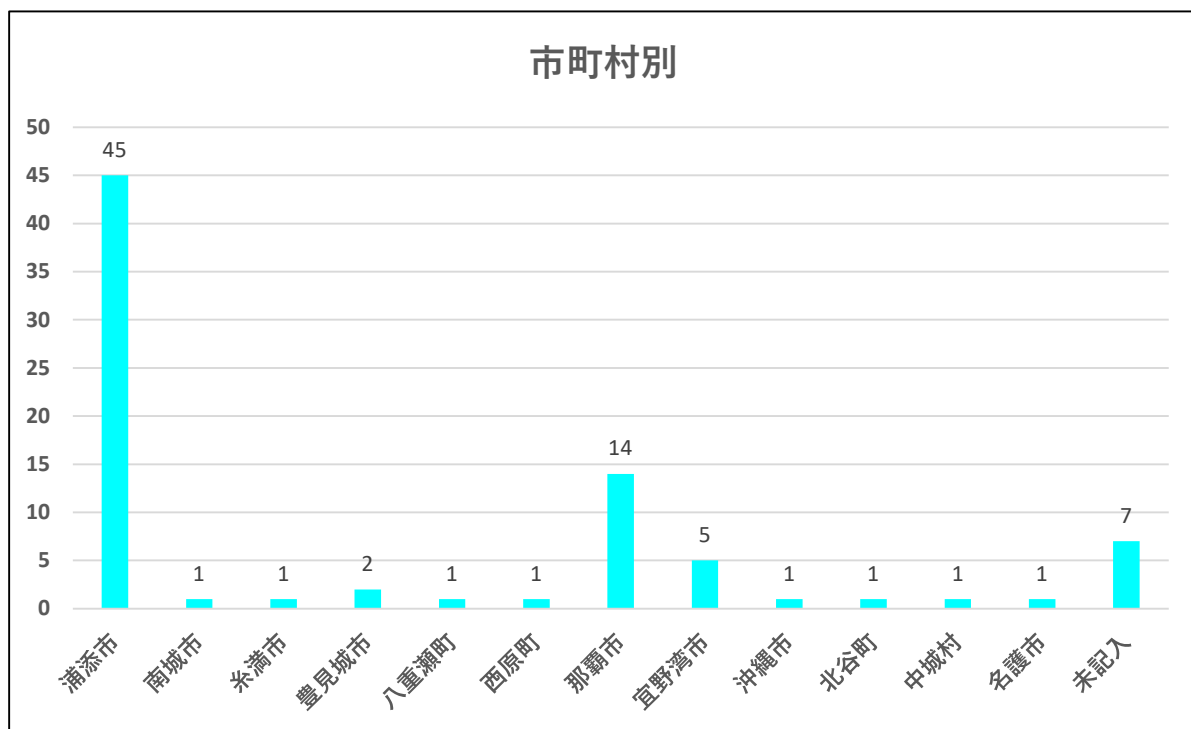
来場者総数：118名

アンケート回答者：81名/118名（回答率:68%）



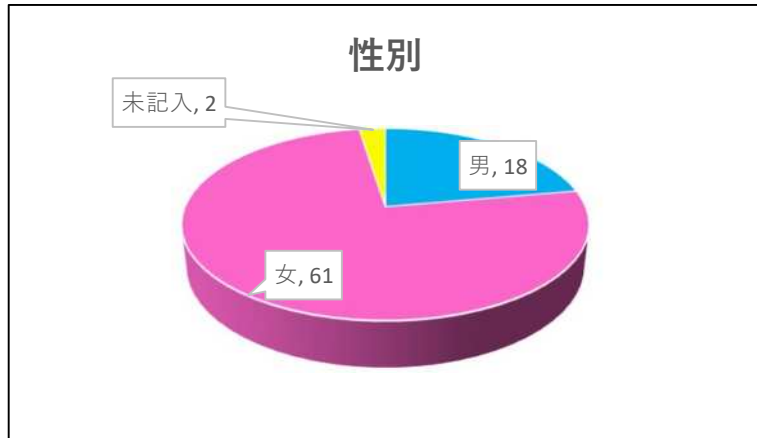
< 来場者(アンケート回答者)の市町村別内訳 >

市町村	人数	割合	
浦添市	45	56%	南部地区 約6割
南城市	1	1%	
糸満市	1	1%	
豊見城市	2	2%	
八重瀬町	1	1%	
西原町	1	1%	
那覇市	14	17%	那覇地区 約2割
宜野湾市	5	6%	中・北部地区 約1割
沖縄市	1	1%	
北谷町	1	1%	
中城村	1	1%	
名護市	1	1%	
未記入	7	9%	
合計	81	100%	



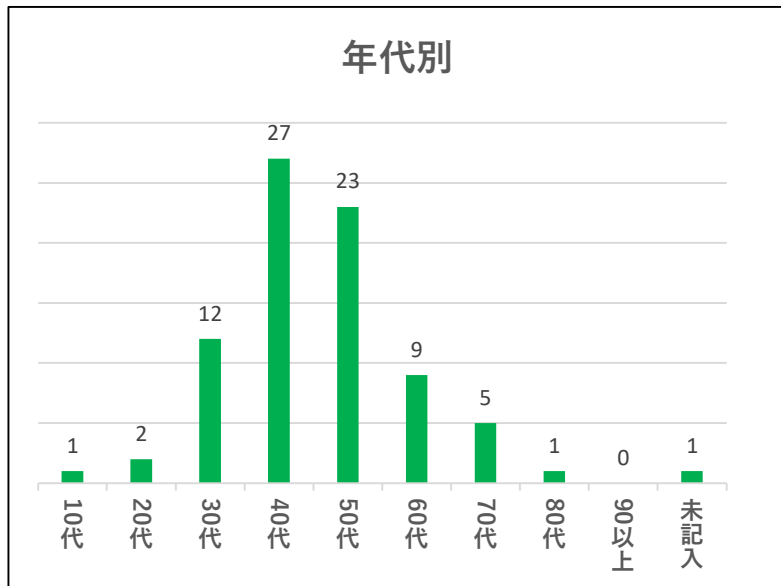
<来場者(アンケート回答者)の男女別内訳>

性別	人数	割合
男	18	22%
女	61	75%
未記入	2	2%
合計	81	100%

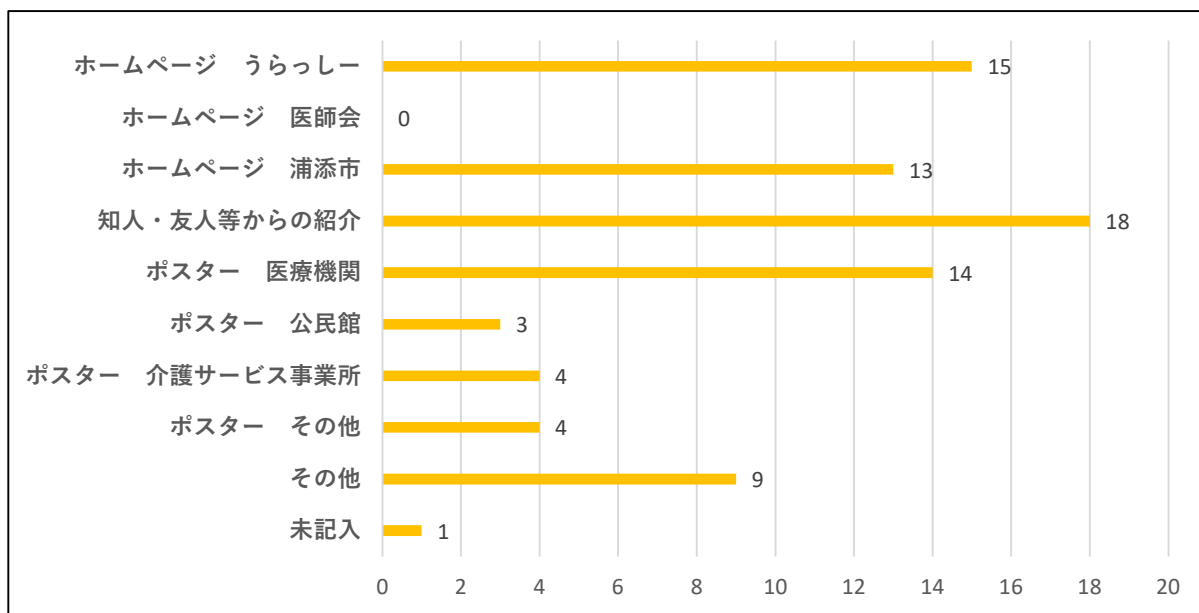


<来場者(アンケート回答者)の年代別内訳>

年代	人数	割合
10代	1	1%
20代	2	2%
30代	12	15%
40代	27	33%
50代	23	28%
60代	9	11%
70代	5	6%
80代	1	1%
90以上	0	0%
未記入	1	1%
合計	81	100%



①本日の市民公開講座を何(どこ)でお知りになりましたか？



(ホームページ内訳)

うらっしー15 浦添市13 知人・友人18

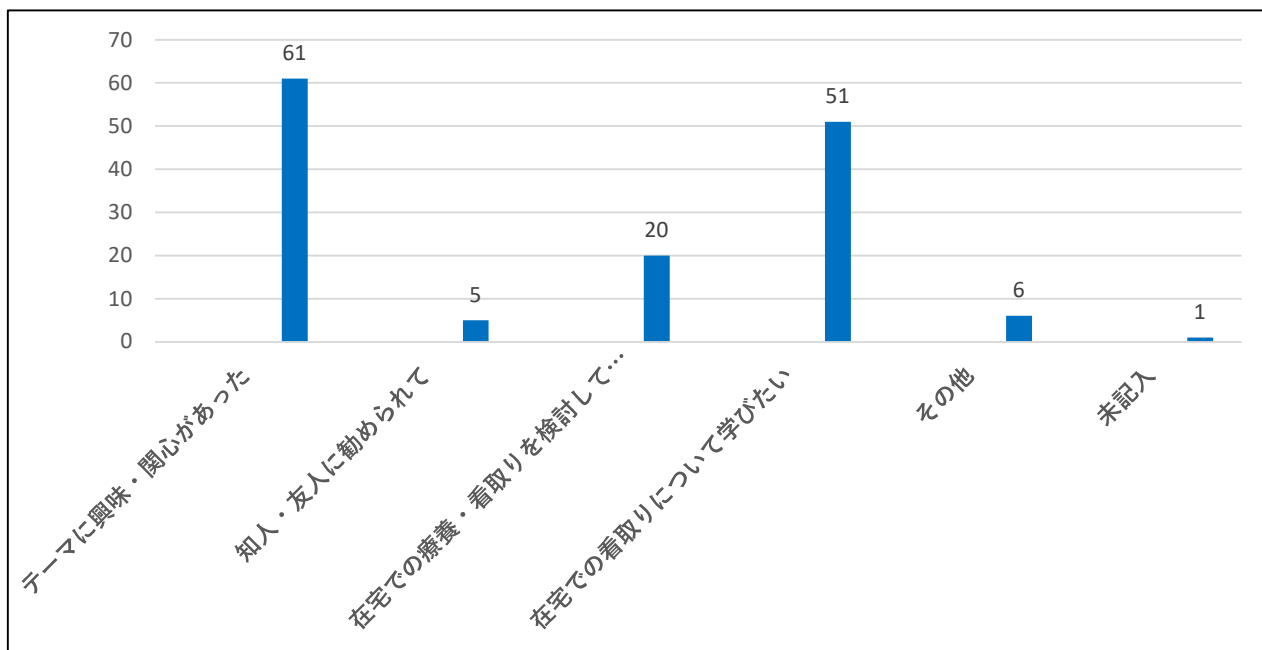
(ポスター内訳)

医療機関14 公民館3 介護事業所4 その他4

(その他内容)

市のLINE SNS・インスタ 仕事柄 地域協力員

②本日ご来場された動機を教えてください。(複数回答可)



(その他内容)

- ・実際に看取りにかかわった事がある。精神的などあり自分自身の終末期を考える。
- ・病院で働いており、入院からできる必要な支援について勉強したい。
- ・仕事柄自身のスキルアップ
- ・ターミナルケア全般を勉強したい。
- ・実際に両親を在宅で看取った経験から看取りについて学び、携わりたいと思い。
- ・市民公開講座運営等を学ぶため。

③本日の専門職の方の登壇内容はどうか？感想などをお聞かせ下さい。

・それぞれの職種の看取りの関わり方が知れ、勉強になった。祖母が施設入所しており、本当は看取りたいという思いが強くなった。

・ケアマネジャーや医師などの看取りについてどう考えているか聴けて良かった。

・とても良い内容だった。いろんな立場での意見や経験談が聴け、サポート体制や内容も理解しやすかった。

・時々、難しい単語を使用していても手話の方が上手に伝えていた。色んな職の方々の話が聴け、もっと頼って関わりをもってもいいのだと思った。勉強になった。

・自分の最期をどうしたいか参考になった。それぞれの専門職から看取りのことが共通しており、これから未来も良くなると安心感がある。

・大変勉強になった。

・在宅看取りについて係るいろんな専門職の方がいることを知り心強いと思った。

・良かった。悩んでないで行政も頼りにすることを学んだ。

・在宅看取りの可能性を感じた。

・今まさに家族・両親介護に触れており、将来的にどういう事がおこるのか少し想像することが出来た。又、このような講座があれば是非参加したい。

・分かりやすく良かった。またこのような機会をつくってほしい。

・実例をあげ、体験談なども参考になった。

・きずな訪問看護師の事例がとても感動した。私も在宅医療を選んで良かったと思えるように頑張る。

・一人で不安や悩みを抱えず受けれるサポート支援等も活用していきたい。

・分からない専門用語が多くあり意味が解らなかったが、専門職の方々の話を聞くことができ、とても勉強になった。これを機会に夫婦で話し合い理解していきたい。

・途中からの参加でしたが、皆良かった。特に訪問看護と訪問介護の話に興味をもった。

・本当にすばらしく自分の家族のためにも大切な話ばかりで又この先の生き方についても参考になった。

③本日の専門職の方の登壇内容はどうでしたか？感想などをお聞かせ下さい。(続き)

・在宅での看取りが身近なものとして本人・家族が容易に相談できる環境作りを行っていて学びのある講義でした。

・福祉についてあまり知る機会がなかったので、こんなにも様々な立場の方の登壇でそれぞれの立場から話を聴ける機会が貴重でした。看取りについての備えをマイナスな方向ではなく「どう生きるか」というプラスの方向で考えや備えをしていきたいと思う。

・備瀬さんの具体的な金額が大まかに分かり理解できた。

・備瀬さんの話が聴きやすく、丁寧で分かりやすかった。

・看取り中の流れを把握出来て良かった。

・細かい説明で理解しやすかった。事例もありイメージしやすかった。色々な職種、役割があることが分かった。

・デリケートな看取りについての話が聴け良かった。家族で過ごす時間の大切さ、普段からリサーチすることを意識したいと思う。

・現在施設入所している親を看取りたいという気持ちになった。

・チームづくりがとても重要だと感じた。

・実家の母を介護しているが、講座を聞き自宅での看取りを一層強く感じた。

・看取りに対して本人・家族が不安になるポイントが分かった。

・事例をあげ具体的な説明でイメージしやすく理解しやすかった。流れも構成も良かった。本人・家族も含めチームアプローチが大事。安心に繋がる。

・介護してきた経験上、浦添市はとても手厚い支援をされていると思った。

・事例を知ることができ、良かった。実践に繋がりたいと思う。

・実際のサービスへ繋ぐまでの流れなども細かくあると今後一般の方も相談しやすいと思う。

・医療・介護サービスはもちろん、本人・家族も含め連携が重要。市長が「一人で悩まないで！皆で考えていく。困った時には相談しましょう」と少しホッとした。

・自分の最期の在り方を具体的に知りたかった。

③本日の専門職の方の登壇内容はどうでしたか？ 感想などをお聞かせ下さい。(続き)

- ・もう少し症例の紹介するなど、深い内容の方が良かった。緩和病棟についての内容も教えてほしかった。
- ・看取りの事例をたくさん聞きたかった。各々の立場からの視点等。
- ・看取り時に福祉用具を借りることがあるため、福祉用具の方の参加があっても良かった。
- ・看取り前の介護の仕方について実践的な方法も学んでみたい。

④本日の質疑応答の内容はどうか？感想などをお聞かせください。

・ケアマネジャーやヘルパー、医師など誰にでも相談出来ることが知れて良かった。

周りの人にも伝えたいと思う。

・全員がしっかり相手の事を考えてくれる事が分かり嬉しく思う。

・分かりやすく返答してくれた。改めて質疑応答を聞き考える課題と思った。ケアマネジャー、キーパーソン、看護師それぞれの役割をもう一度考える勉強になった。

でも、まだまだ病院から退院する時や何かあった時の再入院の受け入れが難しい現状があるのでは？

・皆さんの質問が私本人にも直結しており講座先生方の話も分かりやすかった。

・参考になった。勉強になった。

・リアルな声に対する専門的な答えが聴けて良かった。

・利用する本人だけでなく、家族の相談もいいとの話が聴けて安心感ができた。

・ケアマネジャーとして家族への言葉かけなど仕事に活かしたい。

・同じ機会を何度か開催し沢山の方に伝えていただきたい。

一人ひとりに合ったサービス内容を家族が安心して使えるように考えてくれていることが嬉しく思った。多職種が向き合ってケアしているのが伝わる。

・各登壇者の立場からお聴きできたこと、本当に看取りのゼロから1を聴くことが出き、繋げた質問が聴けて良かった。また、看取り経験談が聴けて良かった。

・自分が気づかなかった質問も聴けて良かった。

・司会者のうまいリードでいろんな質疑応答が聴けた。

・とても良い質問が多く為になった。

・困った時はとりあえず相談。必ず見つかりと聴き安心した。

・先生から病院Drと在宅Drどちらも係わりながらでもいいのでは？というのを聞き、迷っている方には心強いと思った。

・友寄さんの家族の意見が分かれた時の対応の仕方や家族会議をもつ場を作る話がとても大切だと思った。

④本日の質疑応答の内容はどうでしたか？感想などをお聞かせください。(続き)

・浦添市の在宅チームの仲の良さを感じた。在宅専門職も地域の方も積極的に学ばれており素晴らしいと思った。本日の資料に地域の相談窓口等案内があり参考になった。
・記入式で内容が充実していた。
・本日聴いた内容は持ち帰り職場の方にも話したいと思う。
・質疑応答は個々の分からないことを参加者で共有することで理解が深まったと思う。
・本人、家族、専門職が連携することで在宅でより良く過ごせるようになるのかもしれない。
・もう少し時間がほしかった。質問時間・グループワーク含む。
・かかりつけ医と訪問診療医の連携はどうなっているのか。
・ACPをもっと一般に広げてほしい。
・看取りの意味や寄り添いを学ぶ機会、勉強会なども行政がもっとアピールするといいと思う。
・一つ一つにどうだったか聞いても良かった。

⑤今後、取り上げて欲しいテーマなどがありましたらご記入ください。

・ 利用者の気持ちを尊重できるチーム作りはどうしたらいいか？
・ 1テーマ2日間開催してほしい。スケジュール調整や友人へ勧めることが出来る。
・ 施設に入所したらどうなのか？
・ 児童福祉
・ 介護・医療何でも共通するが、言葉という実は大切なことについて、介護・医療を重ね合わせた会に興味がある。
・ 日本全体的な事だが、カタカナ（英語）の名称・表示を日本語で表現してほしい。そうすれば切り替えしやすい。
・ 在宅介護について、介護サービスを利用しながら在宅介護をする際のサービスの種類や介護の仕方、注意点等が知りたい。
・ 在宅看取りについてもう一度開催してほしい。
・ 当事者の体験を通して話などを聴きたい。企画してほしい。
・ グリーフケアという言葉を知った。家族にも教えようと思った。
・ 訪問看護ステーションについて
・ 高齢者の地域に対するニーズ
・ 認知症の介護
・ 今後の医療や介護についてどのように変化していくのか。
・ 精神疾患について、家族の対応・見守り方について。うつ経験者です。
・ 認知症、薬ではなく環境や家族の対応が大事ということ。
・ 延命治療の拒否の在り方。胃婁は延命治療か。本人の意思により胃婁拒否できるか。
・ 次回あれば知り合いを誘い参加したい。ホームページ見ます。
・ 現場スタッフ向け看取りの向き合い方。看取りにおける困難事例。多職種で意見交換したい。
・ 心不全パンデミック
・ 薬の管理について（飲み合わせや副作用について知りたい）
・ 福祉用具の事や福祉サービスの種類等を聞きたい。

